

## 第2次 熊本市食の安全安心・食育推進計画 成果指標【安全安心】

2012/10/11 9:34 現在

第2次計画の内容については、第1次計画の基本的施策や方向性を「継続」するとともに、さらに必要と思われる事項を追加・強化しました。

「食品衛生知識の普及と実践」範囲を修正。(家庭に職場、学校等を追加)

取り組むべき施策への追加

「世代ごとのリスクコミュニケーションの充実」、「新たな健康危機に対応できる体制の構築」、  
「食品衛生監視員の資質の向上」、「区役所との連携強化」、「区役所の相談窓口との連携」

## 1次計画 成果指標

・ 食の安全性・安心感に関する指標  
(成果指標)

項目	H19 (直近年)	H22 (中間)	H24年 アンケート	目標	H19	H24
「残留農薬」について不安を感じる市民の割合	63.0%	63.7%	55.7%	50.0%	+	
「食品添加物」について不安を感じる市民の割合	76.0%	69.6%	63.3%	65.0%	達成	
「食品の不正(偽装)表示」について不安を感じる市民の割合	52.5%	62.8%	51.6%	40.0%	+	
「輸入食品」について不安を感じる市民の割合	68.7%	68.4%	65.2%	55.0%	+	
食品の安全性について不安を感じる市民の割合	77.2%	78.0%	70.0%	65.0%	+	

・ 市民の意識行動に関する指標  
(成果指標)

項目	H19 (直近年)	H22 (中間)	H24年 アンケート	目標	H19	H24
食品の安全性や食品衛生に関する活動に参加している市民の割合	9.6%	11.0%	8.9%	15.0%	-	
食品を購入するたびに表示を確認している市民の割合	46.7%	36.2%	40.2%	55.0%	-	
食事・食品等に関する知識や情報を公的機関から得ている市民の割合	5.8%	6.2%	5.4%	10.0%	-	
食品の安全性に関する知識があると思う市民の割合	49.7%	52.7%	49.6%	60.0%	0	
(準じる指標) 食品の安全性や食品衛生活動に参加したことがある市民の割合	9.6%	11.0%	8.9%	15.0%	-	

## 2次計画 成果指標(案)

・ 食の安全性・安心感に関する指標  
(成果指標)

項目	H24 (直近年)	H30 目標
「残留農薬」について不安を感じる市民の割合	55.7%	50.0%
「食品添加物」について不安を感じる市民の割合	63.3%	50.0%
「食品の不正(偽装)表示」について不安を感じる市民の割合	51.6%	40.0%
「輸入食品」について不安を感じる市民の割合	65.2%	50.0%
食品の安全性について不安を感じる市民の割合	70.0%	50.0%

・ 市民の意識行動に関する指標  
(成果指標)

項目	H24 (直近年)	H30 目標
食品の安全性や食品衛生に関する活動に参加している市民の割合	8.9%	15.0%
食品を購入するたびに表示を確認している市民の割合		指標として適切でないと考えられるため削除
食事・食品等に関する知識や情報を公的機関から得ている市民の割合	5.4%	10.0%
食品の安全性に関する知識があると思う市民の割合	49.6%	60.0%